

医療DXに向けた IHE協会の取り組み

日本IHE協会 ITI委員会
FHIR推進WG
関 昌佳

FHIR関連のIHEプロフィール

- FHIR関連プロフィールを抜粋

セキュリティ関係プロフィール

- [ATNA] Audit Trail and Node Authentication *Add RESTful ATNA (Query and Feed)*
- [IUA] Internet User Authorization
- [mACM] Mobile Alert Communication Management
- [MHD] Mobile access to Health Documents
- [MHDS] Mobile Health Document Sharing
- [mCSD] Mobile Care Services Discovery
- [mXDE] Mobile Cross-Enterprise Document Data Element Extraction
- [NPFS] Non-patient File Sharing
- [PCF] Privacy Consent on FHIR
- [PDQm] Patient Demographics Query for Mobile
- [PIXm] Patient Identifier Cross-Reference for Mobile
- [PMIR] Patient Master Identity Registry
- [SVCM] Sharing Valuesets, Codes and Maps

FHIR関連のIHEプロファイル

- FHIR関連プロファイルを抜粋

セキュリティ関係プロファイル

- [ATNA] Audit Trail and Node Authentication *Add RESTful ATNA (Query and Feed)*
- [IUA] Internet User Authorization
- [mACM] Mobile Alert Communication Management
- [MHD] Mobile access to Health Documents
- [MHDS] Mobile Health Document Sharing
- [mCSD] Mobile Care Services Discovery
- [mXDE] Mobile Cross-Enterprise Document Data Element Extraction
- [NPFS] Non-patient File Sharing
- [PCF] Privacy Consent on FHIR
- [PDQm] Patient Demographics Query for Mobile
- [PIXm] Patient Identifier Cross-Reference for Mobile
- [PMIR] Patient Master Identity Registry
- [SVCM] Sharing Valuesets, Codes and Maps

今後、コネクタソンでの実施を増やしていく

IHE-J コネクタソンで実施

日本IHE協会のFHIRに関する活動

- コネクタソンにおいて、FHIR関連プロファイルの試験の実施
 - 2021年～ PDQmを実施
 - 2024年 MHD、IUAを実施
- FHIRを推進するためのワークフローの整理
 - WGを組織して検討を進めている

IHE-FHIR推進WGについて

- 日本IHE協会会員からメンバー募集
- 2023年12月5日 第1回WG開催
- 以降、全10回開催(2024年10月10日現在)
- メンバー: 29名(同上)

IHE-FHIR推進WGの活動内容

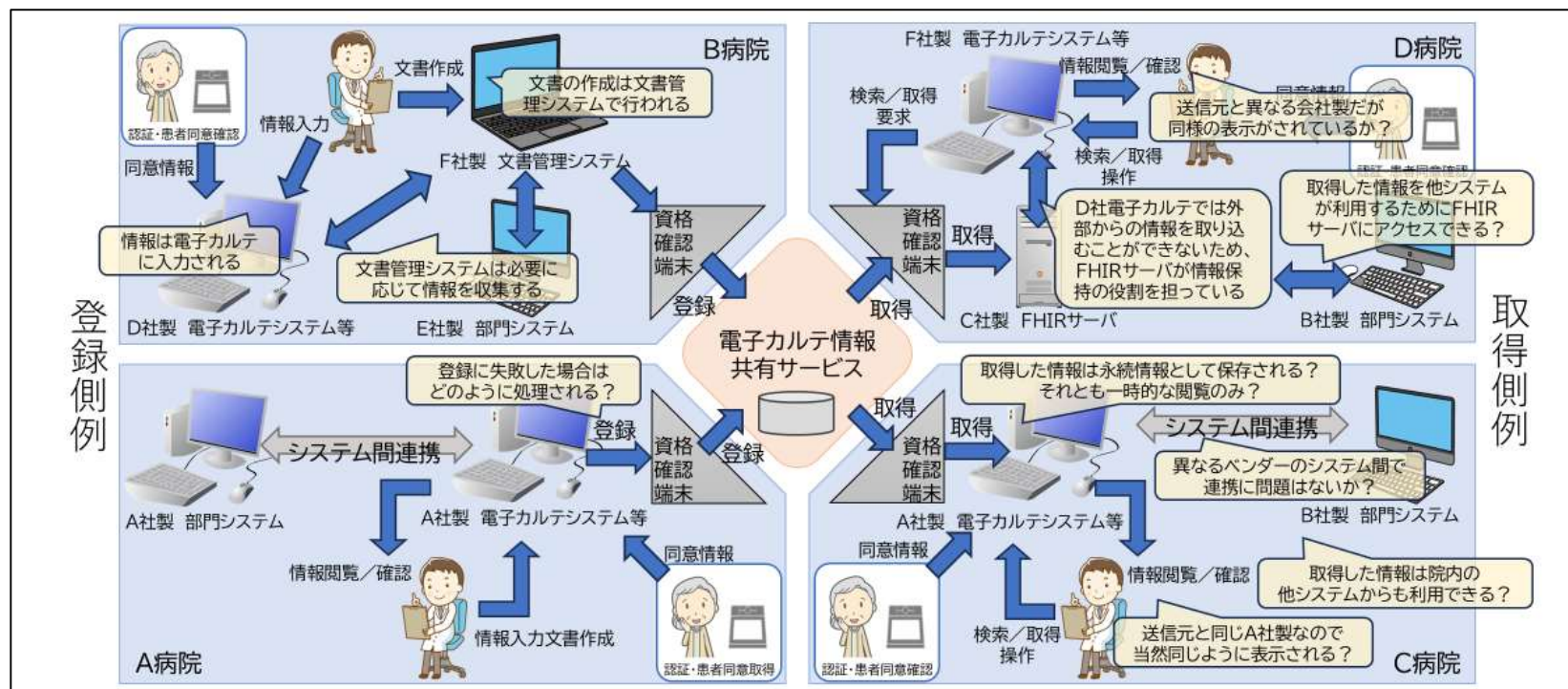
- FHIR関連のIHEプロファイルの内容精査
- 医療DXに利用できるIHEプロファイルの検討
- FHIRを利用した情報連携におけるワークフローの検討
- 上記検討結果の文書化作業

日本IHE協会で FHIR関連の検討を行う理由

- IHEでは、基本的に標準規格そのものを策定していない
- IHEでは、標準規格をどのように使用するかというワークフローを定義／検討している
- 医療関連施設での運用ワークフロー内でどのようにFHIR規格を使用するかという提案を行っていく
 - その中にはシステム実装の正規化も含まれる

医療施設の運用／システム構成は千差万別

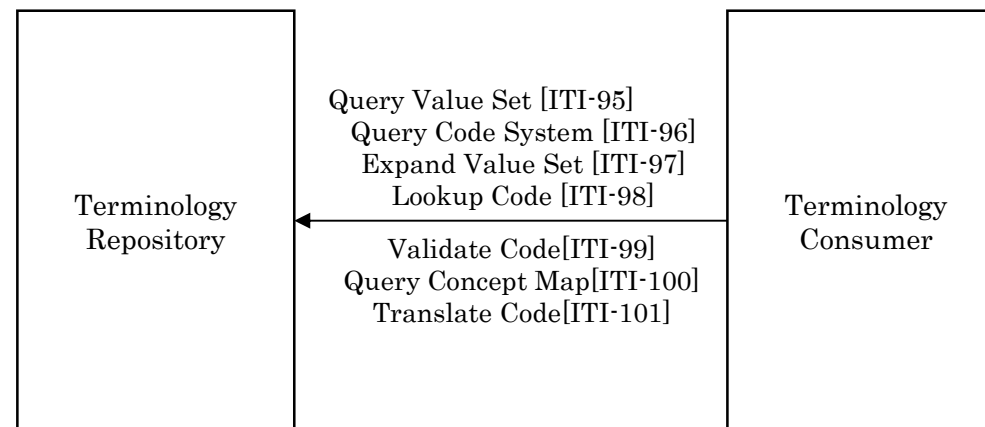
- 下図のように、医療施設でのシステム構成はいろいろなため、統一化は困難
- そのため、IHEでは、最小単位で機能を抽出してアクタを定義
- アクタとアクタの間での情報連携をトランザクションと定義
- これらを組み合わせることでどのようなシステム構成／運用であっても、必要な情報連携が行えるようになっている



最後に

FHIR関連のプロファイルを紹介

- SVCN: Sharing Valuesets, Codes and Maps
 - FHIR仕様を使用して、ヘルスケア システムがコードシステム間の集中管理された統一用語とマッピングを取得できる軽量インターフェイスを定義する。
 - 値セットで管理される用語は、明確さと具体性を高めるために、地域や分野全体で広く共有および標準化される場合に最も役立つ。



まとめ

- 医療DXに利用可能なFHIR関連プロファイルの一覧を紹介
- 日本IHE協会におけるFHIR推進WGの紹介
- 日本IHE協会でFHIR関連活動を行う理由
 - ワークフローの検討を行っている
- FHIR関連プロファイルのSVCMの概略を紹介
- 今後、コネクタソンでFHIR関連プロファイルのテストを随時増やしていく方針
 - 更なる参加協力をお願いいたします

ご清聴ありがとうございました。

ご質問は、
日本IHE協会ホームページまで。